



量産仕様型名 **N20-2**

高音域の改良を目的としています

2磁極型バランスドアーマチャータイプでは行う事が構造上、出来ない音響系の操作ですが、N20型は独特の特徴を生かし、音響系を改良、目的を達成しN20(改2)と仮名称を付けました。

その変更内容は

2磁型バランスドアーマチャータイプ以上の高変換効率を持つ1磁極型バランスドアーマチャータイプの機械系は、N20構造を変更せずに適用、ドライバーユニット背面の音響容量を約-70%させ、音響等価回路上の音響インピーダンスを上げ、高域周波数再生に寄与させています。

音は最終的に人間が聞き評価されるものです。その為その状態での音質確認モニターを行いその結果、聞こえのバランスを取るべくALケース内、Inertance値を約4倍に上げています。技術的観点からは、そのInertance値を上げるという事は高域周波数再生には不利な方向になりますが、数多くのモニター結果より得た内容として最終的に決定した値です。

音響系の操作のみで、音質が変化するという結果を経験して頂きたいと思います。

この改良以外に改2をベースとして、低域部を強調させた技術改良番号改3、改4が在りますが、その紹介は別の機会にさせていただきます。